

令和6年度 学校評価

I 教育目標

(1) 本校の教育目標

心身ともに健康で、心豊かな富士北っ子の育成

(2) 経営方針

くめざす富士北っ子>

心と体が元気な富士北っ子



合い言葉は
「あ・い」

- ・あいさつが進んでできる子
- ・「ありがとう」と感謝できる子
- ・命を大切にできる子
- ・思いやりのある子

(3) 本年度の重点努力目標

喜びを味わえる学校

「できた」「がんばった」と実感し、喜びを味わうことができる活動を行う。

- ・自己決定の場・振り返りの場の充実

日々の取組を積み重ねる学校

あいさつ、そうじ、係の仕事、時間を守る、学習のルールなど日々の取組を大切にす。

- ・規範意識を高める指導(道徳教育の充実)

安心・安全な学校

自他共に命を大切にする心を育むとともに、安全意識を高める。

- ・安全教育の充実

温かく居心地のよい学校

自分のよさ、周りの人のよさを見つける。認め合い、助け合う心を育む。

- ・思いやりの心を育む活動

学校から

地域へ

- ・地域との連携、地域学校協働活動の推進(業務改善により多忙化解消に取り組む)

学校を愛し、地域を愛する心を育む

II 学校評価の目的と方法

1 学校評価の目的

- (1) 教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 自己評価及び学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。
- (3) 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

2 学校評価の定義及び留意点

学校評価の実施手法は、以下の3つの形態に整理される。

- (1) **【自己評価】**各学校の教職員が行う評価
学校評価の最も基本となるものであり、校長のリーダーシップの下で、当該学校の全教職員が参加し、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行う。
- (2) **【学校関係者評価】**保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価
保護者、学校運営協議会委員、地域住民、などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価する。
自己評価と学校関係者評価は、学校運営の改善を図る上で不可欠のものとして、有機的・一体的に位置付けるべきもの。
- (3) **【第三者評価】**学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、自己評価や学校関係者評価の実施状況も踏まえつつ、教育活動その他の学校運営の状況について専門的視点から行う評価
第三者評価は、実施者の責任の下で、第三者評価が必要であると判断した場合に行うもの。

☆ 児童生徒・保護者対象のアンケート（外部アンケート等）について

- ・自己評価を行う上で、児童生徒や保護者、地域住民を対象とするアンケートによる評価や、保護者等との懇談会を通じて、授業の理解度や保護者・児童生徒がどのような意見や要望をもっているかを把握することが重要である。
- ・アンケート等については、学校の自己評価を行う上で、目標等の設定・達成状況や取組の適切さ等について評価するためのものにとらえることが適当であり、学校関係者評価とは異なることに留意する。

3 評価の方法

- (1) **【自己評価】**令和6年12月下旬 児童・保護者アンケートの結果を見て実施
設定した本校の目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について、教育目標に基づいた児童アンケート（全児童対象）、保護者アンケート（全保護者対象）の結果等を踏まえて、全教職員に実施する。
- (2) **【学校関係者評価】** 令和7年2月13日（木）に実施
学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価していただく。
学校関係者評価委員会の構成メンバーは、学校運営協議会の委員とする。
- (3) **【第三者評価】**
第三者評価が必要であると判断しないので実施しない。
- (4) **児童・保護者対象のアンケート**
 - ① 児童アンケートについて
 - ・11月28日（木）朝の読書の時間を利用して実施する。
 - ・欠席者は、12月5日（木）までに実施する。
 - ② 保護者アンケート
 - ・11月29日（金）に全児童タブレットを持ち帰る。タブレットで回答。
 - ・12月2日（月）にタブレットを持参し登校。未実施の家庭には、12月3日（火）からの懇談会で確認をして実施。児童一人に対して一つのアンケートを実施してもらう。

Ⅲ アンケート結果（児童・保護者）と自己評価

1 児童 保護者 アンケート結果

※ 別紙

2 自己評価

※ 別紙

3 児童・保護者アンケートと自己評価（教職員）の考察

（1）「確かな学力を身に付ける」について

・児童アンケートでは「学校の授業は分かりやすい」に対して、昨年まで90%の児童が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答しているが、今年度は87%に減少している。授業に対して苦手意識をもっていたり、理解が十分でなかったりする児童への対応をしっかりと行っていく必要がある。

・保護者アンケートでは「先生は、分かりやすい授業となるように努めていると思う」に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が昨年度の82%から87%に増加するとともに、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の数値も8%から2%と若干だが減少した。

・前年度と異なり、保護者の「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の数値が児童より低くなっているが、「わからない」の数値が11%と高い。授業における児童の様子について日頃より丁寧に伝えるようにしたい。

・自己評価では「分かりやすい授業に努めている」に対して、「あてはまる」が35%だった。子どもたちの思いや願いを大切にした単元・授業構想や学校・地域の特性を生かした教材の発掘の下、子どもたちが学ぶ喜びを感じられる授業実践に取り組んでいきたい。

（2）「豊かな心を育む」について

・児童の「あいさつがしっかりできている」は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」で79%から75%に減少、保護者の「お子様はあいさつがしっかりできている」は、74%から76%に微増している。児童が、自信をもってあいさつできていると思えるよう続けて指導をしていきたい。

・児童アンケートでは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が、昨年度の68%から72%と増加しているが、同じく児童アンケートの「自分にはよいところがあると思う」は、74%から72%に減少している。しかし、どちらの問いにも「わからない」と回答する児童が、16%、20%と高い。自分のよさに気付くことができるように、日頃から一人一人のよさを言葉にして伝える活動を大切にしたい。

・自己評価では、「児童は、自分のよさを自覚していると思う」に対して、「思う」が83%だった。児童理解に努め、積極的にその子のよさを伝えることで、子どもたちの自己肯定感を高めていきたい。

・児童の「学校では、いじめがなく安心して生活している」は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が、昨年度の78%から74%に減少、保護者の「学校は、いじめに対して適切な指導をしている」は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が53%から71%に増加した。引き続き、全員が「あてはまる」と回答できる学校を目指し、小さなトラブルも見逃さず丁寧に対応できるようにしていきたい。また「わからない」と回答する保護者が19%と高い。学校のいじめに対する取組について理解していただけるように丁寧に伝えていきたい。

（3）「健やかな体（安全）を育む（安全面を含む）」について

・児童の「体育の授業や、北っ子タイムなどで、進んで体を動かしている」に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が、75%から76%に微増している。また、自己評価の「子どもの体力向上のために、体を動かす機会の確保に努めている」に対して、72%から91%に増加している。子どもたちとの意識の差を明らかにし、子どもたちに体を動かした実感を味わわせる指導を行っていきたい。なお、保護者の回答は89%から77%に減少している。これも学校の取組を知っていただけるように伝えていきたい。

・保護者からの「交通ルールを守るなどの指導がされている」が84%から91%へ増加した一方、子どもたちの「交通ルールを守って登下校している」が88%から84%へ減少している。学級活動や通学団会において、命の大切さについて考えさせるとともに、交通ルール遵守の意識を高める指導に努めたい。

IV 学校関係者評価

1 「確かな学力を身に付ける」について

- PDCA サイクルが回っているか、チェックはなされているが、次につながるアクションがあるか、アピールが必要である。
- 子どもたちの「分かりやすい授業」への「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」数値が高いのがよい。授業も参観し、板書や掲示を見たが、先生たちが頑張っている。自信をもってよい。
- 教員の評価の「分かりやすい授業」への「あてはまる」が35%。50%を超えてほしい。
- よくなったところをさらに伸ばすことも大事である。

2 「豊かな心を育む」について

- 保護者の「いじめに対して適切な指導ができています」については、「分からない」19%ではなく、「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の10%に注目すべきである。2年前から「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が大きく増えていることはよいことだ。
- 学校は仲間と過ごす場で、楽しい場所でもあるが、つらい場所でもある。校内参観中に見た「友達よいところ見つけ」は、学校が楽しい場所として、よい取組である。日頃から子どもの心の目が養われることになる。
- 学校では心を育ててもらいたい。それを大事にしてもらいたい。授業参観中、校内で「人の話を聞くには」という掲示が目に入った。家ではなかなか教えられないことである。ささいなことではあるが、人の気持ちはいろいろであると分かるものだと思う。
- 1年生から3年生までの学年下校の意義が伝わっていない。命を守らないと豊かな心は育めない。

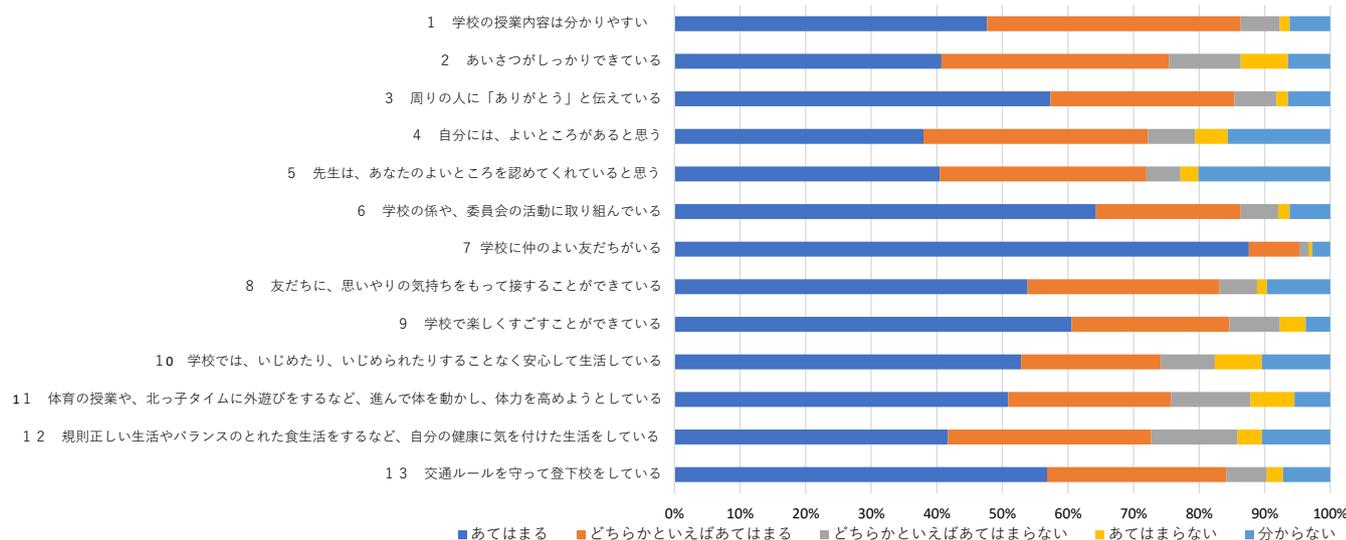
3 「健やかな体を育む（安全面含む）」について

- 運動会を参観したが、子どもたちがみんな参加していて、よかった。得意な子もそうではない子もいる中で、みんなでカバーして行っていた。
- 教員の「子どもたちの体力向上のために、機会の確保に努めている」が昨年より大きく増えている。何を行ったか、振り返り、次年度さらに進歩させたい。
- 「子どもたちとの意識の差を明らかにし、子どもたちに体を動かした実感を味わわせる指導を行っていききたい」とあるので、次年度具体的な手だてを出してもらいたい。

4 その他

- 今年の音楽会、子どもたちが全員鑑賞し、高学年の歌唱演奏を見ることができるようになったのが、よかった。子どもたち一人一人の顔がすてきであり、心に残った。

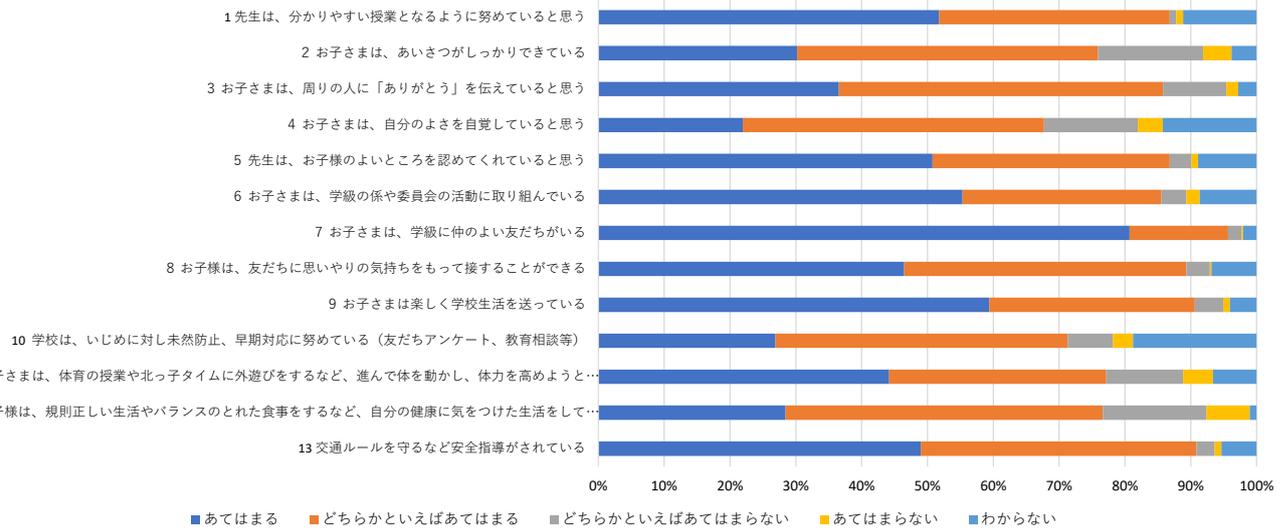
令和6年度 富士松北小学校 児童アンケート



重点目標	児童アンケート内容	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	分からない
確かな学力を身に付ける	1 学校の授業内容は分かりやすい	48%	39%	6%	1%	6%
豊かな心を育む	2 あいさつがしっかりできている	41%	35%	11%	7%	6%
	3 周りの人に「ありがとう」を伝えている	57%	28%	6%	2%	6%
	4 自分には、よいところがあると思う	38%	34%	7%	5%	16%
	5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	40%	32%	5%	3%	20%
	6 学校の係や、委員会の活動に取り組んでいる	64%	22%	6%	2%	6%
	7 クラスに仲のよい友だちがいる	88%	8%	1%	0%	3%
	8 友だちに、思いやりの気持ちをもって接することができる	54%	29%	6%	1%	10%
	9 学校で、楽しくすごすことができている	61%	24%	8%	4%	4%
	10 学校では、いじめたり、いじめられたりすることなく安心して生活している	53%	21%	8%	7%	10%
	健やかな体を育む	11 体育の授業や、北っ子タイムに外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしている	51%	25%	12%	7%
12 規則正しい生活やバランスのとれた食生活をするなど、自分の健康に気を付けた生活をしている		42%	31%	13%	4%	10%
13 交通ルールを守って登下校をしている		57%	27%	6%	2%	7%

重点目標	児童アンケート内容	「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」	昨年度	2年前
確かな学力を身に付ける	1 学校の授業内容は分かりやすい	86%	90%	90%
豊かな心を育む	2 あいさつがしっかりできている	75%	76%	79%
	3 周りの人に「ありがとう」を伝えている	85%	86%	89%
	4 自分には、よいところがあると思う	72%	74%	74%
	5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	72%	68%	70%
	6 学校の係や、委員会の活動に取り組んでいる	86%	90%	90%
	7 クラスに仲のよい友だちがいる	95%	97%	97%
	8 友だちに、思いやりの気持ちをもって接することができる	83%	88%	88%
	9 学校で、楽しくすごすことができている	85%	87%	90%
	10 学校では、いじめたり、いじめられたりすることなく安心して生活している	74%	78%	82%
	健やかな体を育む	11 体育の授業や、北っ子タイムに外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしている	76%	75%
12 規則正しい生活やバランスのとれた食生活をするなど、自分の健康に気を付けた生活をしている		73%	82%	
13 交通ルールを守って登下校をしている		84%	88%	85%

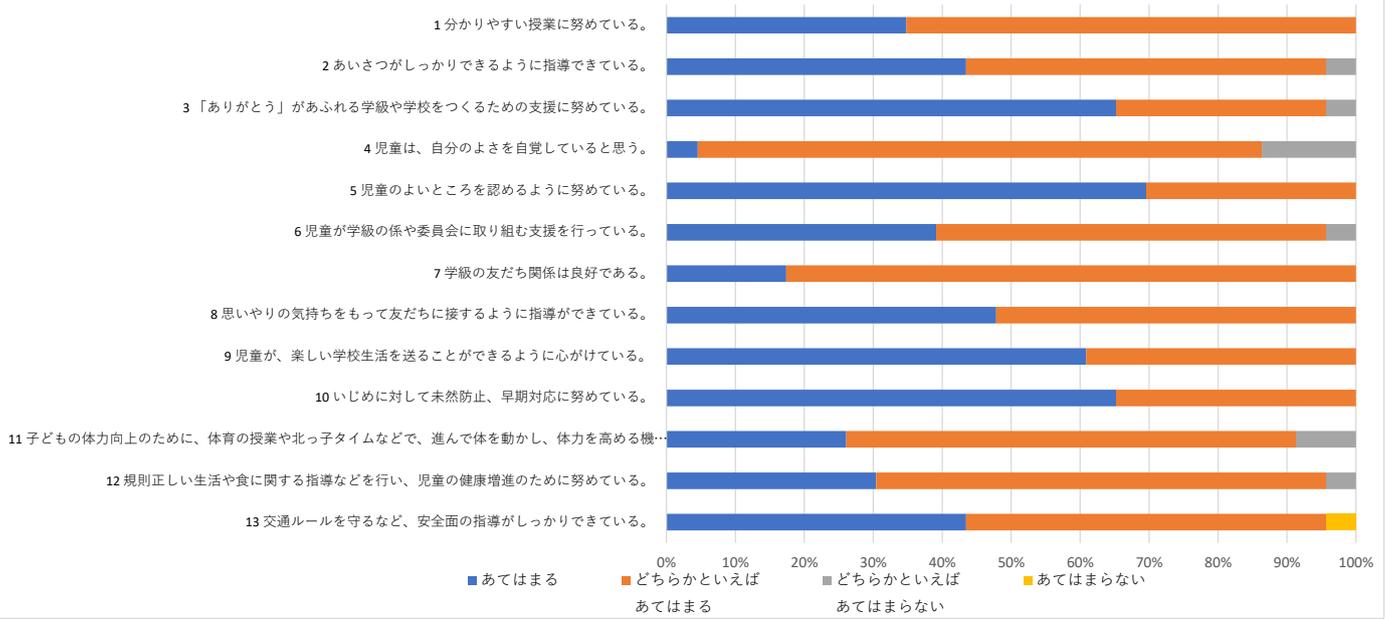
令和6年度 富士松北小学校 保護者アンケート



重点目標	保護者アンケート内容	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	分からない
確かな学力を身に付ける	1 先生は、分かりやすい授業となるように努めていると思う	52%	35%	1%	1%	11%
豊かな心を育む	2 お子さまは、あいさつがしっかりできている	30%	46%	16%	4%	4%
	3 お子さまは、周りの人に「ありがとう」を伝えていると思う	37%	49%	10%	2%	3%
	4 お子さまは、自分のよさを自覚していると思う	23%	48%	15%	4%	15%
	5 先生は、お子さまのよいところを認めてくれていると思う	51%	36%	3%	1%	9%
	6 お子さまは、学級の係や委員会の活動に取り組んでいる	55%	30%	4%	2%	9%
	7 お子さまは、学級に仲のよい友だちがいる	81%	15%	2%	0%	2%
	8 お子さまは、友だちに思いやりの気持ちをもって接することができる	46%	43%	4%	0%	7%
	9 お子さまは、楽しく学校生活を送っている	59%	31%	4%	1%	4%
	10 学校は、いじめに対し未然防止、早期対応に努めている(友だちアンケート、教育相談等)	27%	44%	7%	3%	19%
	健やかな体を育む	11 お子さまは、体育の授業や北っ子タイムに外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしている	44%	33%	12%	5%
12 お子さまは、規則正しい生活やバランスのとれた食事をするなど、自分の健康に気をつけた生活をしていると思う		28%	48%	16%	7%	1%
13 交通ルールを守るなどの安全指導がされている		49%	42%	3%	1%	5%

重点目標	保護者アンケート内容	「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」	昨年度	2年前
確かな学力を身に付ける	1 先生は、分かりやすい授業となるように努めていると思う	87%	82%	84%
豊かな心を育む	2 お子さまは、あいさつがしっかりできている	76%	74%	80%
	3 お子さまは、周りの人に「ありがとう」を伝えていると思う	86%	84%	86%
	4 お子さまは、自分のよさを自覚していると思う	71%	72%	70%
	5 先生は、お子さまのよいところを認めてくれていると思う	87%	83%	84%
	6 お子さまは、学級の係や委員会の活動に取り組んでいる	86%	90%	90%
	7 お子さまは、学級に仲のよい友だちがいる	96%	97%	95%
	8 お子さまは、友だちに思いやりの気持ちをもって接することができる	89%	91%	90%
	9 お子さまは、楽しく学校生活を送っている	91%	92%	92%
	10 学校は、いじめに対し未然防止、早期対応に努めている(友だちアンケート、教育相談等)	71%	53%	51%
	健やかな体を育む	11 お子さまは、体育の授業や北っ子タイムに外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしている	77%	89%
12 お子さまは、規則正しい生活やバランスのとれた食事をするなど、自分の健康に気をつけた生活をしていると思う		77%	77%	
13 交通ルールを守るなどの安全指導がされている		91%	84%	79%

令和6年度自己評価（教職員）



重点目標	自己評価内容	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	分からない
豊かな心を育む	1 分かりやすい授業に努めている	35%	65%	0%	0%	0%
	2 あいさつがしっかりとできるように指導している	43%	52%	4%	0%	0%
	3 「ありがとう」があふれる学級や学校をつくるための支援に努めている	65%	30%	4%	0%	0%
	4 児童は、自分のよさを自覚していると思う	4%	78%	13%	0%	4%
	5 児童のよいところを、認める支援に努めている	70%	30%	0%	0%	0%
	6 児童が学級の係や委員会に取り組む支援を行っている	39%	57%	4%	0%	0%
	7 学級の友だち関係は良好である	17%	83%	0%	0%	0%
	8 思いやりの気持ちをもって友達に接するように指導ができている。	48%	52%	0%	0%	0%
	9 児童が、楽しい学校生活を送ることができるように心がけている	61%	39%	0%	0%	0%
	10 いじめに対して適切な指導ができている	65%	35%	0%	0%	0%
健やかな体を育む	11 子どもの体力向上のために、体育の授業や北っ子タイムなどで、体を動かす機会の確保に努めている。	26%	65%	9%	0%	0%
	12 児童の体力向上や健康増進のためにつとめている	65%	35%	0%	0%	0%
	13 交通ルールを守るなど、安全面での指導に力を入れている	43%	52%	0%	4%	0%

重点目標	自己評価内容	「思う」「やや思う」合計	昨年度	2年前
豊かな心を育む	1 分かりやすい授業に努めている	100%	100%	92%
	2 あいさつがしっかりとできるように指導している	96%	92%	92%
	3 「ありがとう」があふれる学級や学校をつくるための支援に努めている	96%	100%	96%
	4 児童は、自分のよさを自覚していると思う	83%	76%	63%
	5 児童のよいところを、認める支援に努めている	100%	100%	96%
	6 児童が学級の係や委員会に取り組む支援を行っている	96%	100%	88%
	7 学級の友だち関係は良好である	100%	92%	83%
	8 思いやりの気持ちをもって友達に接するように指導ができている。	100%	100%	100%
	9 児童が、楽しい学校生活を送ることができるように心がけている	100%	100%	92%
	10 いじめに対して適切な指導ができている	100%	96%	92%
健やかな体を育む	11 子どもの体力向上のために、体育の授業や北っ子タイムなどで、体を動かす機会の確保に努めている。	91%	72%	71%
	12 児童の体力向上や健康増進のためにつとめている	100%	96%	
	13 交通ルールを守るなど、安全面での指導に力を入れている	96%	100%	83%